

# 自動車・建築・理化学機器関連部品を製造 金型の設計製作から溶接・組立まで 一貫した自社生産体制

林工業

林工業（林雄太社長、本社：大田区東雪谷、03・3727・1241  
／西那須野工場・那須塩原市高柳、0287・36・6211／  
那須烏山工場・那須烏山市鴻野山0287・88・0156）は、金型の設計製作から金属プレス加工、切削・溶接・組立などを自社で一貫して生産できる体制をとっている。

昭和25年にミシン製造会社の協力工場として品川区旗の台で創業した同社は、プレス金型およびその加工部品、精密プレス部品加工による家庭用ミシンの部品製造からスタートした。製造・販売が拡大する中で、昭和37年に西那須野工場、平成20年には那須烏山工場を新設、同社最大加圧能力を保有する250tダブルクランクプレスによる操業を開始した。ミシン部品製造で培った高い技術を活かし、昭和59年からは大学の研究室などで使用される理化学汎用実験機器の設計開発・製造に着手、さらに平成元年には自動車製造部品業界へ参入し、ミシン部品製造からの業態転換を図った。現在の事業構成比は、自動車関連50%、建築関連25%、理化学機器関連25%となっている。

三代目である林雄太社長は、「戦



林雄太社長



西那須野工場



VOLTEGA パワースターラーシリーズ（開発製品）

後復興・平和な生活の発展に当社の技術力で貢献していきたい」という創業者である祖父の「平和産業」への想いを受け継ぎ、一貫生産体制による「コストダウン」と「品質保証」を武器に、常に新たな技術や市場の開拓、新しい価値を創造すべく、事業に取組んでいる。日本の「モノ作り」の根幹である高品質・コスト競争力・納期順守の3本柱を追求しつつお客様の多様なニーズに応え、あらゆる業界へ提案を続ける当社へ、金属部品でお困りの際はぜひご相談ください。